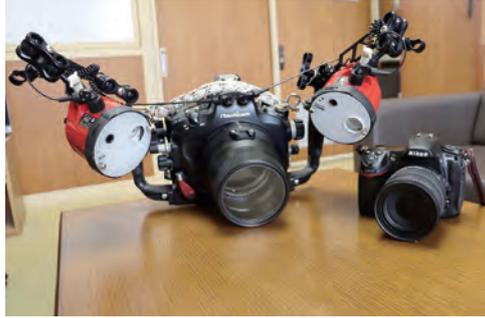


私と愛南町 ともてる 西尾知照さん(環境省国立公園指導員)



愛媛
CATV
動画



▲3代目の相棒。一眼レフを専用のケースに収め海に潜る。



◀西尾さんイチ押しの一枚は今年2月号に載せたアオウミウシ。

“愛南の海が私のホームグラウンド”

身近な海の素晴らしさを伝えたいとの思いから始まった、ともてる西尾知照さんの『本日!海日和!!』。14年間160号にわたり掲載が続いた『本日!海日和!!』は、西尾さんの定年退職を機に先月号で一旦幕を閉じました。3月末まで伊予市の小学校で校長を務めた西尾さんは、平成10年から環境省国立公園指導員として県内の海を守る活動に尽力され、平成22年から広報あいなんを通じて町内外の方々に愛南の海の魅力をたくさん発信していただきました。

これまでに空気タンク1,000本分は愛南の海に潜ってきたという西尾さんが初めて愛南の海に潜ったのは大学1回生の時で約40年前。スキューバダイビング部のメンバーと訪れた三ツ畑田島でした。潜った瞬間に思わず声が出たと言うほど美しかった愛南の海に心を奪われてしまい、大学を卒業して中予で教師の道を歩み始めた数年後には愛南町(旧西海町)への転任希望を提出し、平成元年に旧西海町の小学校へ着任しました。西海や中浦で合計7年間の教員生活を送った西尾さんは、「町外から赴任してきた私を温かく迎え入れてくれました。近所の方が立派なカツオを獲れたままの状態で、しかもまな板をセットで頂いたことが一番びっくりしましたし温かい人柄を感じました」と、愛南で過ごした思い出を笑顔で振り返り、町外に転任してからも愛南での経験が教育現場に生かされてきたと話す西尾さん。4年生の社会科の時間には校長先生自ら教壇に立ち、これまで撮影した写真や動画を使い、サンゴの美しさや保全活動についての特別授業を毎年行ってきました。

今までは潜ることが主な目的だったと言う西尾さんは、「愛南町には海の楽しみがたくさんあるので、これからは肩ひじ張らずに日常の中での楽しみを堪能していきたいです。もし、海辺で釣りをしている私を見かけたら声を掛けてもらえると嬉しい」と話し、教員時代に交流した愛南の方々との再会を楽しみに今後の展望を述べました。

編集後記

3月1日、南宇和高校の卒業式。真剣な面差しで式に臨む卒業生とそれを見守る皆さんをカメラ越しに拝見しながら、私もこの1年で取材した高校生の皆さんの努力する姿や笑顔を思い出していました。学校生活で得た思い出は、これからの人生を支えてくれる宝になると思います。

それぞれの志を持って羽ばたく皆さんへ、心をこめて。ご卒業、誠にありがとうございます。

町外への出張はめったにない広報係ですが、西尾さんにお会いするべく伊予市にある北山崎小学校へ。

2年にわたり西尾さんと毎月記事のやり取りをしていましたが、今回念願の初対面。海の話や愛南町での思い出話などたくさんのお話を聞かせてもらい、改めて『本日!海日和!!』を読んでみると西尾さんの愛南町への思いが込められていると感じます。ぜひ読み返してみてください！ M

愛南町の世帯数と人口
令和6年3月1日現在

世帯数	9,916世帯	(-5世帯)
人口	18,990人	(-15人)
男	9,002人	(-9人)
女	9,988人	(-6人)
愛南町の高齢化率	46.8%	
※ () 内は前月比		
●10年前 同月の人口 23,954人		

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

<https://www.town.ainan.ehime.jp/>